

## 第 143 回交流フロア運営会議（議事概要）

### 1 日時・場所

日時：2023 年 3 月 6 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

### 2 参加者数 20名

### 3 会議内容

<新規提案>

(1) 懐かしくて新しいわらべ歌遊びの会 春

#### 【概要】

・季節や行事にちなんだわらべ歌を紹介して、実際にわらべ歌遊びを体験するイベントを開催したい。

・今回は春のわらべ歌を中心に紹介する予定。

・イベント名の「懐かしくて新しい」は、お年寄りにとっては懐かしいわらべ歌も、子どもにとっては初めてで新鮮であることから。前回 2 月に同イベントを開催した際はキャッチコピーとして使用していたが、好評だったためイベント名に入れ込んだ。

・対象は 0 歳から 100 歳までと広く設定している。0 歳ではわらべ歌遊びは難しいかもしれないが、側の大人の笑っている顔を見てもらう機会は大切だと思う。また、孫と遊べるわらべ歌を勉強しに、お年寄りも参加される。

・前は定員 10 人で参加者を募集したところ、19 人が集まった。今回は、定員 15 人に設定して様子を見ようと思う。

#### 【意見】

・素敵なイベント名だと思った。

・春にちなんだわらべ歌というと、例えばどんなものがあるのか。

→草で引っ張り合いっこするときの歌や、たんぽぽの綿毛を飛ばすときの歌など、春の自然を感じる歌を中心に紹介する。

(2) きっと誰かに話したくなる！京都のあんな話こんな話

#### 【概要】

・京都・観光文化検定 2 級を所持する企画者が、京都について興味深いお話しを紹介するイベント。

・京都三大祭りのひとつ「葵祭り」が行われる 5 月 15 日前後に合わせて、三大祭の紹介をしたい。

・京都の伝統行事や伝説を中心に紹介していく予定。また、和菓子の名前の由来や通りの覚え

方についても説明したい。

**【意見】**

- ・京都市内のややこしい住所について説明があると面白いかもしれない。
- ・京都・観光文化検定のイメージがわからないので、初めに検定の概要や例題を紹介してもらえるとわかりやすいと思う。

(3) 消費者被害を防ぐ

**【概要】**

- ・高齢者をターゲットとした特殊詐欺による被害を防ぐために安全講座を開催したい。
- ・企画者から伊丹警察署の生活安全課に講座を依頼する。約1時間程度の講座で、配布資料も生活安全課で用意する。
- ・生活安全課による講座は平日のみ開催可能。
- ・講座は全て生活安全課にお願いするため、企画者の仕事が企画と発案、仲介のみになってしまう。講座の中で何かしらお手伝いをしたい。

**【意見】**

- ・企画者のイベント当日の役割として、司会進行を務めてはどうか。イベント企画のきっかけなどを話すといいと思う。
- ・どうして消費者被害のイベントを発案しようと思ったのか。  
→昨年、消費生活センターが開講した講座を受講し、消費生活コンサルタントの資格を取得した。何かしら地元に貢献したいと考え発案に至った。
- ・生活安全課との調整は企画者で進めてもらうことになるが、可能か。  
→生活安全課からは、イベントの開催について前向きなお返事をいただいている。

(4) ～歌と物語～図書館のアフターヌーン

**【概要】**

- ・女声合唱団『花みずき』による企画。蔵書点検で図書フロアが利用できない第一木曜日や、6月の特別整理期間に歌や朗読、オカリナ演奏を楽しむイベントを開催したい。
- ・第1部では東北地方の民話を紹介し、第2部では合唱を聞いてもらう。第3部では宮沢賢治をテーマにオカリナ演奏や朗読を楽しんでもらう予定。

**【意見】**

- ・盛りだくさんの内容であるが、時間としてはどれくらいかかる想定なのか。  
→約1時間を想定している。第1部と第2部の間に休憩時間を設けたい。
- ・女声合唱団ということであるが、何人くらいで合唱するのか。交流フロアに入りきる人数か。  
→10人前後で合唱するため、会場の広さについては問題ない。

## (5) 子育てで悩むママさんへ マヤ歴からわかる我が子の特徴と育て方アドバイス

### 【概要】

- ・子育てで悩む保護者を元気づけられるようなイベントを開催したい。
- ・マヤ歴の 20 のカテゴリーを用いて、子どもの生年月日からその子の特性を明らかにする。子育てで悩む保護者に子どもの特性をお伝えすることで、問題の捉え方を良い方に転換することができる。
- ・生年月日から特性を割り出すにはある程度の計算作業と時間が必要。事前に参加者の子どもの生年月日を知っておきたいが、申し込み受付時に聞いてもらうことはできるだろうか。
- ・他にも、昨今注目されている EQ (心の知能指数) についてもお話ししたい。

### 【意見】

- ・申し込み時に生年月日を聞くことについて、チラシなどに生年月日を講師にお伝えする旨を記載し、申し込み時に参加者から了承を得られれば可能かと思う。ただし引き続き検討が必要。
- ・時間はどれくらいかかるのか。  
→マヤ歴と 20 のカテゴリーの説明で 1 時間弱、その後質疑応答で合計 1 時間半程度を想定。
- ・マヤ歴からの算出は、イベントの中で説明しながら参加者に算出してもらうのか。  
→申し込み時に聞いた生年月日から、あらかじめ算出しておいたものをイベントでお伝えする予定。
- ・事前に了承いただくとはいえ、個人情報を集めるのは良くないと思う。
- ・イベントに参加することで、余計に悩みが増えることがあってはならない。イベントの進め方は慎重に検討するべき。

## (6) 男性も必見！女性のための遺言講座

### 【概要】

- ・遺産相続のトラブルを避けるために必要な知識をお伝えする講座を開きたい。
- ・タイトルの「女性のための」は、配偶者に先立たれて残されるのは、男性よりも女性の方が多いため。平均寿命が女性の方が高いのに加え、高齢者世代には男性の方が年上の夫婦が多く、男性が先立たれた際に遺言の有無で発生するトラブルが非常に多い。実際に遺言をするのは男性側のため、男性も必見の内容となっている。

### 【意見】

- ・子どものいない夫婦の場合、遺言などなくても遺産は妻が相続するのではないか。  
→子どものいない夫婦の場合、妻と男性側のご兄弟が法定相続人になる。遺言がなければご兄弟が遺産の一部を持って行ってしまう。
- ・実際の事例やケースをチラシや配布資料に載せるとわかりやすいと思う。
- ・当日の講座では、どのようなスタイルで説明をするのか。ワークシートなど書き込むものがあれば、より理解しやすくなると思う。

・対象年齢は決まっているのか。極端な話、小学生が参加されるかもしれないが、小学生にもわかりやすい説明をしていただけるのか。

→さすがに小学生には難しい話になる。遺言を考え始める年代をターゲットに、対象年齢の設定をしたいと思う。

・質疑応答の時間に相談が集中しそうだが、時間配分は大丈夫か。

→時間の制約はある。しっかりとした相談をいくつも受けるのは難しいし、士業と結び付けてしまうと営利目的のイベントとなってしまう。あくまで注意喚起にとどめたい。

#### <イベント報告>

##### (1) ココロとカラダを鍛える椅子ヨガ

参加者は12人。座りながらでも簡単にできる椅子ヨガを紹介した。40代から80代の方が多く。たくさん質問をされる熱心な方が多かった。健康への関心の高まりを感じた。

##### (2) エコ川柳

応募は249件。「もったいない月間」としてSDGs関連イベントを開催する2月に、エコに関する川柳を募集する公募イベントを開催した。昨年が100件の応募だったのに対し、今年は倍以上の応募が集まり嬉しい。

##### (3) わらべうたあそびの会

参加者は19人。三回目の開催であったが、参加者が増えて嬉しい。小さなお子様が多いと予想していたが、思いのほかお年寄りも多く参加されていた。世代間の交流を楽しんでいただけたようで良かった。

##### (4) おくのほそ道を学ぶ講演会

参加者は31人。三回目の開催となる。今回初めてモニターとパソコンを使用して、映像を織り交ぜながら講義を進めた。そのおかげか、非常に良い感想が多かった。わかりやすい説明を心掛けたので嬉しい。

##### (5) 英語で童謡を楽しもう

参加者は10人。未就学児を対象に、きらきらぼしを英語で歌って遊ぶイベントを開催した。初めてのイベント企画であったが参加者には楽しんでもらえたようで良かった。参加者からの質問に答えられなかった等の反省を次に活かしたい。

##### (6) 漫画を語ろう

参加者は8人。テーマは「うるうる」。これまでは、ひと月にひとつのテーマを決めて漫画を持ち寄っていたが、4月からは3か月おきにじっくりとしたテーマを複数設定して開催しようと思う。次回は3月27日(水)18時30分からで、テーマは「もうすぐ新年度が始まるし、テーマとか決めずに好きに語ろうの巻」。

4 次回の運営会議 2024年4月3日(水) 18:30～ ことば蔵1階 交流フロア